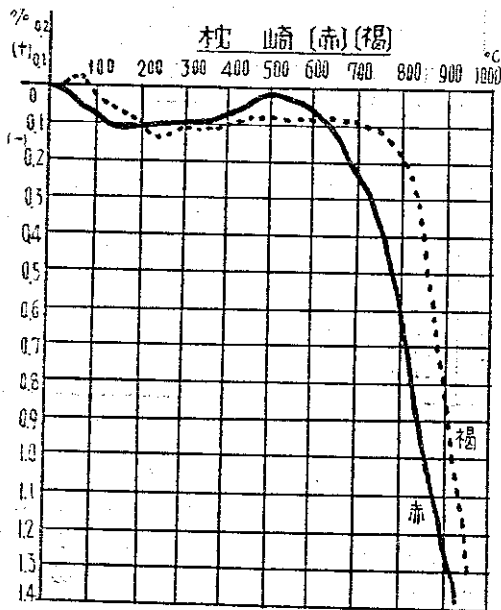


d 化学分析	ig. loss	SiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	CaO	MgO
	%					
田ノ土	6.92	65.00	21.74	4.95	0.63	0.36
山ノ土	8.09	56.00	26.82	7.92	0.75	0.40

(3) 乾燥素地の性質

	可塑水量	乾燥収縮	曲げ強度
			kg/cm ²
田ノ土	24%	7.50%	48
山ノ土	28%	8.75%	19

(4) 熱膨脹収縮曲線



(5) 焼成品の性質

	焼成 温度	焼成 収縮率	全 収 率	吸水率	比重	曲げ強度
	°C	%	%	%		kg/cm ²
田	700	0.01	7.51	17.69	1.75	—
ノ	800	0.56	8.07	17.61	1.75	75
	900	1.00	8.50	17.54	1.76	85
土	1000	2.00	9.50	15.30	1.82	120
	1100	4.03	11.53	11.48	1.95	—
山	700	0.27	9.02	25.18	1.58	—
ノ	800	0.54	9.29	24.73	1.53	30
	900	1.00	9.75	24.20	1.59	35
土	1000	2.30	11.05	22.44	1.63	65
	1100	4.10	12.35	19.71	1.77	—

(6) 総括

田ノ土はカオリナイト(ハロイサイト)質のものであるが焼締り良くこの種粘土では比較的良質である。又山赤土も石英の膨脹は見られるが田土への配合用として一応は適当と思はれる。

3.2.2 題目 工業用水(地下水)採取が附近掘鑿井(泉)に及ぼす影響について

黒川 達爾雄

〔I〕市内原良町宝酒造K.K.鹿児島工場周辺の調査結果

〔目的〕秋・冬・春におこる、宝酒造K.K.鹿児島工場周辺の掘鑿井(泉)水位低下の原因が、或いは同工場の工場用水採取の結果に基づくのではないかと、その実情調査を依頼され、簡単な調査を行った。

〔調査方法〕

- 自記検潮機を用ひ、一掘鑿井(泉)について、水位の連続測定を行った。
- 6ヶの掘鑿井(泉)について、工場用水採取の断続する期間を選び、水位の連続測定を行った。
- 等水位線を作成し、水の流れる方向を調べた。
- 附近河川水、井水、掘鑿井(泉)水、工場用水の水質を調べた。

〔結果〕

(a) 工場側における工場用水採取に関連して、明瞭な水位の変化が認められた。

例えば(i)明らかに停電時に水位が向上し、通電後低下した。(ii)正月休みに、工場の運転を中止した場合水位が著しく向上し、運転再開と共に低下した。(iii)正月休み後の水位低下は正月以前のそれより大きくない。これは工場側が節水を図った事によるものと推定する。(iv)三月以降工場が運転を休止した後の水位は、前年10月以前の工場運転休止期中の水位に復した。然し時々臨時的な水位の低下が見られた。これは工場側で臨時採水を行った時に起つたものと推定する。

(b) 水は明らかに、工場方向に向つて流れているものと、考察された。

(c) 工場用水、掘鑿井(泉)の水質は同じで河川水、浅井戸の水質とは異つていた。

〔結果の考察〕

宝酒造K.K.鹿児島工場の工場用水採取は附近掘鑿井(泉)に影響を及ぼすものと考えらる。